

「情報内容」

情報内容の見直し

情報内容については、音声で伝える場合と画像として伝える場合がある。
ここでは、それぞれについて特徴を踏まえ、情報内容の検討を行った。

音声による伝達

音声で伝達する文案のサンプルについては以下の留意点を踏まえて作成した。

文案の説明順序

注意喚起 現状報告 行動方針 補足事項

重要な情報は2回繰り返す、または、強調する。

イメージの伝わりにくい数値は除く。

なお、音声による伝達には、伝達手段が固定か移動かによって伝達する文章の長さが変わってくる。移動の文案は固定の文案をベースに、さらに簡略化を図る必要がある

平成18年12月9日に行われた担当者会議では上の枠でまとめた考え方をもとに、サンプル案を作成した。今回の報告では、平成18年12月9日に行われた担当者会議以降に行った各市へのヒアリングおよび平成19年2月19日に行われた担当者会議での結果を受けサンプル案の修正を行った。

ヒアリングによる修正意見

- ・文章を短く、簡潔に
(広報車による放送では特に簡潔にする必要がある)
- ・避難の対象を指定するのは困難では？
(破堤箇所が決め難いことから氾濫エリアの設定が困難)
- ・一文ごとに一拍おくほうがよい
(スピーカーが近く、放送内容が重なって聞こえることがあった。)

平成19年2月19日に行われた担当者会議での修正意見

- ・「避難の段階(避難準備情報、避難勧告、避難指示)」、「避難段階に応じた行動」を明確に表現する。
(「現状」と「それに対応する行動」が伝えるべき最も重要な点)
- ・「はん濫注意水位」等の表現は使わない。
(音声では、一般的な言葉を用いる。)
- ・「避難指示」では切迫した表現にする。
(この段階ではとにかく避難してもらう必要があることから)
これを踏まえ以降にサンプル案の修正を行ったものをまとめた。

避難指示

(サイレン)
 緊急放送、緊急放送、こちらは、市災害対策本部、日、時分の放送。
 これから避難指示情報をお知らせします。(2回) 注意してお聞きください。(ややあける)
避難指示が発令されました。(避難指示の再放送、時分に避難勧告発令が発令されました。)
 現在大変危険な状態です。
これからお知らせします避難指示の対象地区の方については、直ちに指定の避難所まで避難してください。
避難指示の対象は 地区の 、 、 、 地区の 、 です。 } 2回
また、避難所は、 、 、 、 です。
 浸水のため、 付近、 付近は通行できません。
 周りの状況から判断して、避難所まで行けない方は用水路やマンホールなどに気を付け、近くの安全な高い建物へ避難をしてください。
 自宅周辺の水の深さがひざ以上であると外出は危険です。食料、水、戸別受信機、ラジオ、懐中電灯、(カイロ)などを持ち、自宅の高い所に避難してください。
【繰返し、放送終了5分後・10分後再放送】

注意喚起
 状況報告
 行動方針



避難指示

(サイレン)
 緊急放送、緊急放送。
 こちらは、市です。
 洪水に関する避難指示を発令しました。
 現在、川では堤防が決壊するおそれがあり(堤防が決壊し)大変危険な状態です。
 (地区の方は)直ちに指定の避難所まで避難してください。
 周りの状況から判断して、避難所まで行けない方は用水路やマンホールなどに気を付け、近くの安全な高い建物へ避難をしてください。
 (自宅周辺の水の深さがひざ以上であると外出は危険です。食料、水、ラジオ、懐中電灯などを持ち、自宅の高い所に避難してください。)

 ()内については、必要に応じ、適宜伝達すること。
【繰返し、放送終了5分後・10分後再放送】

放送は2回行い、1回目はやや緊迫感を出すためにやや早めに抑揚をつけ、2回目はやや遅めに伝える

アンダーライン：強調

- ・一文ごとに一拍おいて話す。
- ・放送は2回行い、1回目は緊迫感を出すためにやや早めに抑揚をつけ、2回目はやや遅めに伝える

音声（移動）による情報伝達の内容

避難準備情報

こちらは、市災害対策本部です。
 地区の川地点では、今後時間以内に、氾濫の恐れのある水位に達すると想定されま
 す。
 次の地区の方は避難準備をお願いします。
 、地区の
 、地区の

避難勧告

緊急放送、緊急放送、こちらは、市災害対策本部です。
 避難勧告が発令されました。
 川地点では、氾濫の恐れがあるはん濫危険水位を超え、危険な状況が想定されます。
 次の地区の方は指定の避難所まで速やかに避難をお願いします。
 、地区の方の方は、避難所の、
 、地区の方の方は、避難所の、

避難指示

緊急放送、緊急放送、こちらは、市災害対策本部です。
 避難指示が発令されました。
 現在、大変危険な状態です。
 次の地区の方は直ちに指定の避難所まで避難してください。
 、地区の方の方は、避難所の、
 、地区の方の方は、避難所の、
 周りの状況から判断して、避難所まで行けない方は用水路やマンホールなどに気を付け、近くの安全
 な高い建物へ避難をしてください。

伝達手段が移動の場合は、情報が聞き取りやすくする
 ように、やや遅めに伝えることとする。



避難準備情報

こちらは、市です。
 避難準備情報を発令しました。
 高齢の方、小さいお子さんをお持ちの方などは早めに避難をしてください。

避難勧告

こちらは、市です。
 避難勧告を発令しました。
 速やかに指定の避難所まで避難してください。

避難指示

こちらは、市です。
 避難指示を発令しました。
 現在、川では堤防が決壊するおそれがあり（堤防が決壊し）大変危険な状態です。
 直ちに指定の避難所まで避難してください。
 周りの状況から判断して、避難所まで行けない方は用水路やマンホールなどに気を付け、近くの安全な
 高い建物へ避難をしてください。

- ・一文ごとに一拍おいて話す。
- ・伝達手段が移動の場合は、情報が聞き取りやすくするように、
 やや遅めに伝えることとする。

画像による伝達

画像による伝達とは、何らかのモニタに情報を映し、それを見た一般の方に情報が伝わることである。想定されるモニタとしては、以下の2種類が想定される。

テレビや大型画面のスクリーンと携帯のモニタ

携帯電話の画面

両者共に、1画面内に必要な情報を掲載することが望ましい。

画像に示す文案については以下の理由からやや詳細に示すべきと考えた。

- ・ 画像での情報は正確に把握できる。
(音声では聞き逃しにより確認できない場合も想定される)
- ・ 「はん濫危険水位」等の表現については、パソコン、携帯電話で現況の水位情報の入手先に、現状の判断基準として示していることから(情報入手先に基準水位の位置づけも示されている)これらの表現を用いた状況説明は問題ないと考えられる。

なお、テレビや大型画面を対象に画像は以下の理由から現状において今回作成したものが用いられる可能性が小さい。

- ・ 避難勧告等の発令後にその内容を放送するように、市と放送事業者で連携体制が確立されており、放送の際のフォーマットは設定済みである。
- ・ 大画面のモニタは浜大津に1箇所あるが、災害時にはNHKの放送が流れるようなシステムになっている。

★避難準備情報発令中

●●市災害対策本部
(●月●日●●時●●分 発令)

●●川●●地点では、災害が起こるおそれのあるはん濫注意水位を超え、今後も水位が上昇すると予測されるため、避難準備情報を発令しました。

高齢の方、小さいお子さんをお持ちの方などは早めに避難をしてください。

その他の方も避難のために身の回りの準備をしてください。

※避難されるときは、最小限の衣類、菜、タオル、懐中電灯等とともに、食べ物、飲み水等を持参して下さい。

★避難勧告発令中

●●市災害対策本部
(●月●日●●時●●分 発令)

●●川●●地点では、水位が避難判断水位を超え、洪水による被害が生じるおそれが大きくなりましたので、避難勧告を発令しました。

住民の皆さんは、速やかに指定の避難所まで避難してください。

※避難されるときは、最小限の衣類、菜、タオル、懐中電灯等とともに、食べ物、飲み水等を持参して下さい。

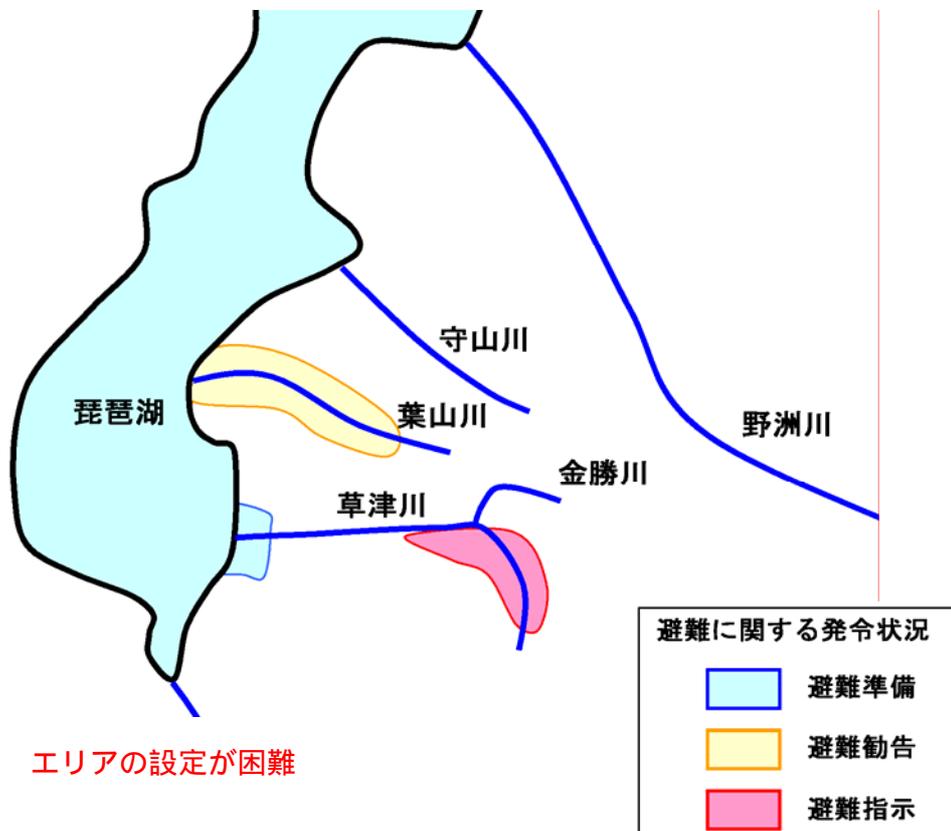
テレビ・大型画面の画像イメージ(文字)

★避難指示発令中

●●市災害対策本部
(●月●日●●時●●分 発令)

●●川●●地点では、水位がはん濫危険水位を超え、堤防が決壊するおそれがあり(堤防が決壊し)大変危険な状態にあることから、避難指示を発令しました。
住民の皆さんは、直ちに指定の避難所まで避難してください。
周りの状況から判断して、避難所まで行けない方は用水路やマンホールなどに気を付け、近くの安全な高い建物へ避難をしてください。

テレビ・大型画面の画像イメージ(文字)



テレビ・大型画面の画像イメージ(画像)

体制	文案	文字数
避難準備	<p>避難準備情報発令中 市災害対策本部（ 月 日 時 分 発令） 川 地点では、災害が起こるおそれのあるはん濫注意水位を超え、今後も水位が上昇すると予測されるため、避難準備情報を発令しました。 高齢の方、小さいお子さんをお持ちの方などは早めに避難をしてください。 その他の方も避難のために身の回りの準備をしてください。</p>	167
避難勧告	<p>避難勧告発令中 市災害対策本部（ 月 日 時 分 発令） 川 地点では、水位が避難判断水位を超え、洪水による被害が生じるおそれが大きくなりましたので、避難勧告を発令しました。 住民の皆さんは、速やかに指定の避難所まで避難してください。</p>	145
避難指示	<p>避難指示発令中 市災害対策本部（ 月 日 時 分 発令） 川 地点では、水位がはん濫危険水位を超え、堤防が決壊するおそれがあり（堤防が決壊し）大変危険な状態にあることから、避難指示を発令しました。 住民の皆さんは、直ちに指定の避難所まで避難してください。</p>	154

携帯電話で1画面内に掲載できる文字数は概ね100文字前後である。

携帯電話への送信メールの文案